

## ちょっとといい話

西序舎から北に行くと郷地区がある。そこには集落活動センター奥四万十の郷がある。土日・祝日には県内外からたくさんの方が訪れる。そこから800メートルほど手前に郷内という集落がある。国道439号線の山手側に紹介をしたい橋本さんのお宅がある。

ご主人の橋本建さん(82)は肝臓の手術歴や不整脈もあるため、体脂肪を下げるというお茶を欠かさず飲んでいる。そのペットボトルを利用して風車(かざぐるま)を作りはじめ自宅の前に置くようになった。今は600~700個はあると言う。通りかかった外国の方や県内外の方から「売つてほしい」と言われるが、ご主人は売らないそうだ。「欲しけりや持つて行き。」と言つて100個以上は差し上げたと笑う。

先日、高知市の方がお礼の手紙と風車の写真を送つ

てくれたしましたと見せてもらつた。こんなお付き合いが止められないからと今日も作つていた。

その横で奥さんの澄江さん(80)が、「主人は昔から手先も器用でした。それにボケ防止にもなる。」と嬉しそうに話してくれた。

最近のペットボトルは柔らかくなり風車には使えな

い物が多くなった。使える物を集めては作り色を塗つて楽しんでいるそうだ。

長沢の滝や吉村虎太郎邸に行かれたときは少し足を延ばしてみてはいかがですか。豪快なご主人と心優しい奥さんがお待ちしてくれていますよ。



津野町議会だより  
発行調査特別委員会



委員長	西元和代
副委員長	石川寿朗
委員	中山昭英
委員	川上智子
委員	大崎健夫
委員	大崎芳章

※分かりやすい紙面にと心がけています。読後のご感想、ご意見をお寄せ下さい。

自由下さい。  
（文責）川上 智子

厳しい暑さが続いてあります。皆様にはご健勝にてお過ごしのことと、お慶び申し上げます。

さて、6月18日の議会選挙を終え新組織が決まりました。議会と執行部の立場は違えども「この町を良くしよう」「住民の満足度を高めよう」という点では共通認識があります。行政サイドとは異なる視点から議会としてチエックし、施策と住民生活の実態に隔たりがないよう、地域の声を届けていくことがでなければと考へています。この4年間、町民に信頼される議会・親しみの信頼ある議会を10人でしっかりと作つていくよう努めますので、町民の皆様の更なるご指導を賜りますようお願いいたします。

時節柄、くれぐれもご愛戴下さい。